

# CITIZEN®

## 電波時計（デジタル電子音目覚まし時計）取扱説明書

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい日時に自動修正
- 日時、曜日、六曜、温度、湿度表示
- 掛・置兼用

お買い上げいただきありがとうございます。  
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について  
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用、または現品交換で対応させていただきますことがあります。
- 修理可能期間について  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合  
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

### 発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005（フリーダイヤル）  
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ143」をお伝えください。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1209)

### おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃（液晶表示可読温度範囲0～40℃）*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒（常温中のクォーツ精度）
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個
電池寿命	約1年 1日当たり、アラームを30秒鳴らしたとき
標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局／九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に開始
受信 ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能
アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	4段階電子音 鳴り方が変化
スヌーズ機能	なし
オートストップ機能	あり
音量調節	なし
カレンダー	2012～2099年対応
六曜	2012～2030年対応
温度湿度表示	
測定間隔	約1分間隔
温度表示	-9.9～50℃
温度精度	±2℃
湿度表示	20～95%RH 温度が5～50℃のとき *相対湿度表示
湿度精度	±10%RH

\*液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。  
40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。  
\*液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。  
\*%RHは相対湿度の単位です。天気予報など一般には%で表示されることが多いです。

\*厳密な温度・湿度の管理や証明、商取引には使えません。

### 付属品

電池 2個 木ねじ 1個 保証書 1枚 取扱説明書 本書

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### 図記号の説明

- ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
- ①は、指示する行為を必ずすることを示しています。

### 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

⚠ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない  
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

⚠ 電池から漏れた液に触れない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。  
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●漏れた液に直接触れないでください。

●ゴム手袋をして電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### 注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

⚠ 電池の⊕⊖を正しく入れる  
必ず守る 逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。

⚠ 強い振動や衝撃を与えない  
禁止 故障や破損の原因になります。

⚠ 下記のような場所では使わない  
禁止 部材の変形、変色、劣化により、品質や精度の低下、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。 ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。 ●プール、温泉場などガスの発生する所。
- 温度が+50℃以上の所。 ●調理場など多くの油を使用する所。
- 温度が-10℃以下の所。 ●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、
- ほこりが多く発生する所。 直接ふれさせておくと、色移りや付着、
- 強い磁気が発生させる機器のそば。 変質をすることがあります。

⚠ 液晶表示部が破損した場合は、素手でさわらない  
必ず守る 万一、液晶材料が手などに付着した場合は、通常の石鹸で洗い流してください。

## お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●壁に掛けて使用した場合、静電気により製品や壁が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

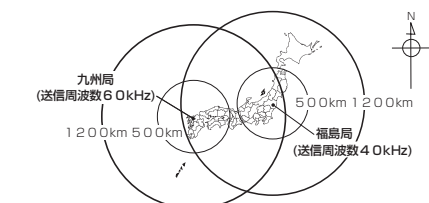
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

\*標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。  
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

\*標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。  
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

## 電池のご注意（電池の正しい使いかた）

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。 ●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。 ●動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。 ●止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。 ●電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

### 電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、不向きですので使用しないでください。

●一部の高性能電池では、初期電圧が高く、不向きなものがあります。

(例・Panasonic オキシライド乾電池)

### 電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

## 電池の交換時期お知らせ機能



電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。

### 注意

電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

⚠ 電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

\*単3形アルカリ乾電池を使用することができます。(2個とも同じ種類の電池にする)

## 電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

## 静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

## 電波受信機能のON/OFF操作

### ■ 受信機能 OFF（無効にして手動で日時を合わせる）

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。

○「ピー」と鳴ってから押してください。

○OFFになると「ピー」と鳴りません。

○日時は手動で合わせてください。

### ■ 受信機能 ON（有効にして受信を開始する）

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。定期的に標準電波を受信して日時を自動修正します。

\*操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

\*電池を取り出して放置すると受信機能はONの設定になります。

## 強制受信とリセット操作

### 強制受信

### 時刻合わせ

### リセット

### リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2012年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00、アラーム機能がOFFになります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

### 強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。

次のようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているとき
- 手動で日時またはアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

## 1 電池を入れ、標準電波を受信して日時を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)

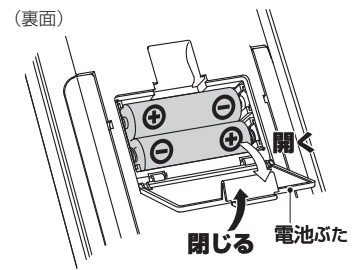
リセットを押すときは爪楊枝など細いもので押す

**操作ボタン**

アラーム 押すとアラーム機能のON/OFFが切り替わる。  
進む 戻る } アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用します。  
リセット 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押します。  
時刻合わせ 手動で日時に合わせるときに使用します。  
強制受信 すぐに電波の受信を開始させたいときに押します。  
12/24H 時刻の表示形式を切り替える。

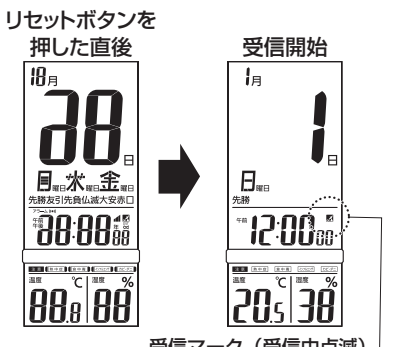
時計正面より見てください。

液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。



- 電池ふたを開ける。
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単3形マンガン乾電池を2個入れる。  
※電池の⊕⊖を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。
- 電池ふたを閉じる。

### 【受信の流れと表示】

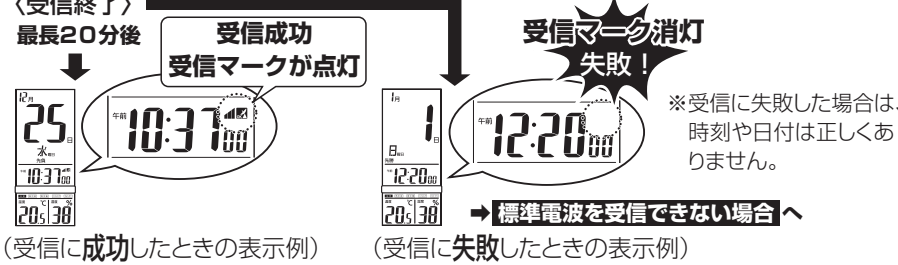


電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2012年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00、アラーム機能はOFFに設定されます。

受信マークの変化（電波サーチ機能）  
電波の状態により変化します。

受信できない → 受信しやすい

- 
- 
- 
- 



- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

## 標準電波を受信できない場合

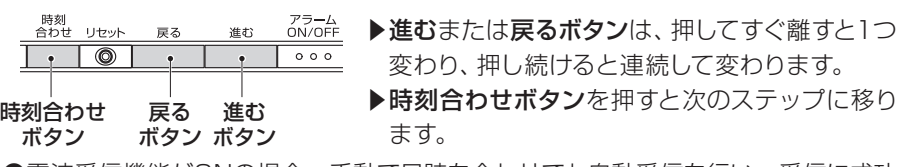
- 朝までそのままにしておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で日時を合わせて一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

## 標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

### 手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせる

ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。  
このときの時間精度は、平均月差 ±30秒のクォーツ精度になります。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。



- 電波受信機能がONの場合、手動で日時を合わせても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。裏面 **電波受信機能のON/OFF操作** 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。
- アラーム時刻が点滅またはアラームが鳴っているときは、時刻合わせボタンを押しても切り替わりません。

### 操作例. 2013年12月25日 午前10:37に合わせる

- 設定を開始する**  
西暦年が点滅するまで時刻合わせボタンを約2秒間押し続ける。
- 西暦年**  
進むまたは戻るボタンで「2013」年に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 月**  
進むまたは戻るボタンで「12」月に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 日**  
進むまたは戻るボタンで「25」日に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 時**  
進むまたは戻るボタンで「10」時に合わせて、時刻合わせボタンを押す。
- 分**  
進むまたは戻るボタンで「37」分に合わせる。  
秒は⑥で進むまたは戻るボタンを押すたびに「00」秒に設定されます。
- 時刻合わせボタンを押して設定を終わります。

**置く**

スタンド

置いてご使用になるときはスタンドを図のようになさってください。  
※無理な力を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。  
※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

**掛ける**

**注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。

## 2 アラーム機能を使う

### アラーム時刻を合わせる

アラームマーク点滅

12時間表示のとき午前/午後の表示に注意

戻るボタン 進むボタン アラームボタン

- アラームボタンを押してアラームマーク(●)を消す
- 進むまたは戻るボタンを押してすぐ離す  
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
- 進むまたは戻るボタンでアラーム時刻を合わせる
- 約5秒間ボタン操作をしない  
設定を終わり現在時刻の表示に戻ります。

進むまたは戻るボタンは、押してすぐ離すと1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

### アラーム機能のON/OFF設定

表示例 アラームON直後

約2秒後 現在時刻表示

アラームONで表示

アラームボタンを押すとONとOFFが切り替わります。ONにすると約2秒間アラーム時刻を点滅表示してから現在時刻の表示に変わります。ON 設定時刻にアラームが鳴りだします。OFF アラームを止める、鳴らさない。  
●(●)アラームマーク ON 表示 OFF 消灯

**時刻表示中にアラーム時刻を確認するには**  
進むまたは戻るボタンを押してすぐに離してください。約5秒間アラーム時刻を点滅表示します。

### アラームオートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。アラーム機能はONのままです。

### アラーム音を試聴するには

アラーム時刻を現在時刻より1～2分先の時刻に設定して、アラームボタンを押して、アラームをONにしてください。時刻になるとアラームが鳴ります。試聴後はアラームをOFFにして、アラーム時刻を設定しなおしてください。

### アラームご使用上の注意

アラーム機能がONのままでは、毎日アラームが鳴りますので、アラームを使わないときは、アラーム機能をOFFにしてください。

## 六曜について

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。  
※六曜や曜日は該当する 〇六曜は2012～2030年まで対応。それ以外の期間所が点灯します。 は表示されません。

## 時刻表示形式の切り替え

12/24H ボタンを押すと切り替わります。

午前 / 午後付き 12時間表示 24時間表示 0:00 00 ~ 23:59 59

※表示の切り替えは、受信中、日時/アラーム時刻設定、アラームが鳴っているときは操作できません。

## 温度・湿度と注意報表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスの室内用です。  
○センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度、湿度の変化を反映しません。  
○湿度は相対湿度です。

**設置場所について**  
空気がよく循環する場所に設置してください。  
直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。  
また、屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。  
※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。  
※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでます。

### 測定範囲を超えたときの表示とその意味

- 温度 「HH.H」 50℃より高温 「LLL」 -9.9℃より低温
- 湿度 「HH」 95%を超えている 「LL」 20%未満
- 「--」測定不能(温度が5～50℃の範囲外)

### 注意報表示は温度・湿度が注意すべき状態になると対象項目が で囲まれます。

注意 熱中症 食中毒 カビ・ダニ 図では「インフルエンザ」が対象。  
注意報の項目は常に表示されています。

※注意報は発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。  
※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

<p><b>熱中症</b> 高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流（風）、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。</p> <p><b>食中毒</b> 梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、 1. 菌を付けない（清潔にする） 2. 菌を増やさない（迅速に冷却、乾燥する） 3. 菌を加熱などで殺す 対策が必要になります。</p>	<p><b>インフルエンザ</b> 湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の動きを弱め、ウイルスによる感染が起こり易くなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。</p> <p><b>カビ・ダニ</b> 一般にカビ・ダニ等は、室温20～30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。</p>
--	--

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

時計裏面 壁掛け穴 9mm

引きかかっている 引きかかっていない

木の柱または木質の厚い壁面 壁掛け穴

## その他の壁面の場合

●石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。